

2 研究内容1「子供が社会とのかかわりを深める教材開発」に関わって

(1) 研究内容1—①「社会に対する関心を高める教材の選定」

自分という存在が自分たちの住むまちで大きな役割を担っていることに気付くことが、地域の課題を解決していく上で重要であることを理解させたい。

そのため、生徒にとって身近な問題であり、多雪地域にとって共通の課題である除排雪問題に焦点を当てた。この問題は旭川市にとっても大きな課題となっており、これを教材化することは、生徒と地方の政治をつなぐために有効であると考えた。旭川市永山地区には、18の町内会が集まって組織される永山第三地区市民委員会がある。この住民組織は、行政、企業と協働することで、除排雪の問題解決のために次のような活動を行っている。

- ・雪捨て場に関する看板やパンフレットの作成
- ・違法駐車禁止の呼びかけや除排雪が行われる条件を知らせる説明会の実施
- ・地域の企業の私有地を雪置き場として提供してもらうよう依頼
- ・交差点の雪の高さを1m50cm以下にってもらうよう除雪センターに依頼
- ・年5、6回、市の土木事業所や業者と共にパトロールや除排雪の情報交換の実施

その結果、地域の企業が積極的に駐車場を雪置き場として提供してくれるようになり、路上駐車や道路への雪出しなどの違反行為が減るとともに、住民からの苦情も激減するなどの成果を上げている。その取組については、地域のメディアにも度々取り上げられている。永山第三地区市民委員会の方々は、「市に出される要望・苦情の大半が住民のエゴであることから、自分たちで何かできないか」、「自分たちが取り組むことで少しでも除雪費を減らす事ができれば、その分を福祉や教育などに生かしてもらえないのではないか」と、この取組を始めるきっかけとなった熱い想いを語っていた。

旭川市との協働事業として「安全・快適な冬の生活道路を守る」事業が平成22年度から始まった。平成24年度からは、「地域力向上事業（市民委員会チャレンジ事業）」として取り組み、旭川市内の他地区にも大きな影響を与えてきた。その例として、忠和地区市民委員会の活動がある。道路への雪出し・路上駐車禁止などのパトロールや啓発活動を定期的実施するようになったのである。こうした地域の問題に住民の立場から主体的に取り組む事例の教材化は、子どもたちと社会をつなぎ、主体的に社会に参画していく態度を育むことにつながると考えている。

■「旭川市の除排雪問題」のストロングポイント

多雪地域に暮らす生徒たちにとって身近な問題である。

旭川市が抱える問題であるとともに、雪国共通の問題である。

生徒と地方の政治をつなぐのに有効な教材である。

旭川市には、除排雪の問題解決のために、住民組織が立ち上がり、行政、企業と協働することで成果を上げている永山第三地区市民委員会の事例がある。



3 研究内容2 「子供が主体的・協働的に追究する学習展開」に関わって

(1) 研究内容2—②「社会的事象の意味や特色, 相互の関連, 概念について協働的に考える授業構成」

練り合いのテーマは、「除排雪が遅く交差点の見通しが悪いという問題の解決策を考える」である。この具体的な地域の問題について、グループごとに「市(行政)」「業者(企業)」「住民」の立場に立ち、ユニットの中で蓄積してきた資料を基に、それぞれの視点で解決策を考える。

次に3つの立場を組み合わせたグループに再構成し、出された解決策を共有しながら、それぞれの立場で議論し合う場を設定する。

話し合いは、市の除雪ルールやマナーに関する啓発活動、財政事情、業者が抱える除雪機械の老朽化やオペレータ不足・高齢化といった問題、住民の違法駐車やルール・マナー違反がある現状など、ユニット内で積み重ねてきた学習を踏まえて行う。議論する中で、一つの立場のみで解決していくことが困難であることに気付き、三者が様々な形で協働して解決策を出していくことができるかがポイントとなる。

さらに、除排雪の問題に対して住民が主体的に取り組み、行政や企業と協働している永山第三地区市民委員会の事例を紹介する。解決が難しい問題に対して、実際に努力している様子を知ること、住民として自分たちがすべきことや住民の行動で地域が変わることに気付かせる。

その後、除排雪から地域の問題へ生徒たちの視野を広げるために、最も身近な忠和地区市民委員会の方に除排雪以外の取組を聞く。それにより、「地域の問題を解決するには、住民が積極的に地域のことを知り、行動することが重要である。また、行政や企業・住民が協働して地域の問題を解決する努力が大切である」という概念的知識に迫る。

最後に概念的知識を自分の言葉でまとめさせる。それを除排雪以外の問題に役立てることができないか考えさせ、学びを広げていくことにつなげていく。

■協働的に考える授業

つかむ

旭川市の除排雪の現状に関する蓄積してきた資料を確認し、本時の学習課題を把握する。

深める

①班ごとに行政、企業、住民で、また立場が異なる者が揃うよう班を再構成し、「除排雪が遅く交差点の見通しが悪い」問題について考える。

②住民が主体的に取り組み、行政や企業と協働している永山第三地区市民委員会の事例を知る。

③忠和地区市民委員会の方の講話を聴き、除排雪問題から地域の問題に視野を広げる。

考える

地域の問題を解決する上で大切なこととは何か?を個人でまとめる

広げる

住民として行政や企業などと協働して解決すべき身近な課題を考えさせる。

4 ユニットの目標

(1) 旭川市の課題に対する様々な取組を適切にまとめ、住民が積極的に参加し、行政や企業と協働する大切さを理解させる。

【知識・技能】

(2) より良い地方公共団体のあり方や旭川市の課題について、住民の意見や行政、財政状況を踏まえながら多面的・多角的に追究し、その結果や過程を適切に表現させる。

【思考・判断・表現】

(3) 地方自治に関心を持ち、旭川市をより良くするために、住民として意欲的に関わろうとする態度を育てる。

【主体的に学習に取り組む態度】

5 ユニットの評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
旭川市の課題に対する様々な取組を適切にまとめ、住民が積極的に参加し、行政や企業と協働する大切さを理解している。	より良い地方公共団体のあり方や旭川市の課題について、住民の意見や行政、財政状況を踏まえながら多面的・多角的に追究し、その結果や過程を適切に表現している。	地方自治に関心を持ち、旭川市をより良くするために、除排雪の問題の解決策を様々な資料から考えるなど、住民として意欲的に関わろうとしている。

6 知識の構造図

小学校での既習知識		
<p>第3・4学年「5 健康なくらしとまちづくり(東京書籍『新しい社会』)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲料水の確保やごみ処理などの様々な取組などの対策や事業は、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っている。 <p>第5学年「5 国土の自然とともに生きる(東京書籍『新しい社会』)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の国土は自然災害が多く、被害を防止するために、国や都道府県、地域住民などが協力して対策や事業を進めている。 <p>第6学年「2 くらしの中の政治(東京書籍『新しい社会』)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人々の願いを実現するために、国や地方公共団体の政治の働きが関わっており、それらは、国民の生活の安定と向上を図るために重要な働きをしている。 ・地方公共団体の政治は、人々の願いを取り入れながら進められており、国民の生活の安定と向上を図るために重要な働きをしている。 		
基礎的知識	説明的知識	概念的知識へつなげる指導の重点
地方公共団体 住民自治 地方議会 , 首長 直接民主制 公共サービス 条例	地域の課題は、その地域に住む住民自身の手によって解決していくことが原則である。 地方公共団体は、地方議員も首長も住民によって直接選挙され、両者が協力しながら政治を行っている。	旭川市は除雪のルールを定め、住民に除雪のマナーを知らせていること、除雪業者は「後継者不足」「重機(機材)の老朽化」「排雪場不足」などに苦勞していることを特に意識させる。
地方財政 自主財源, 依存財源 地方交付税 国庫支出金 地方債 財政改革	地方財政は、依存財源や借入金割合が高く、財政再建が課題となっている。	旭川市は自主財源の割合が少なく、依存財源に頼り、限られた予算の中で様々な役割を果たしている中、除雪費が増加傾向にあることに着目させる。
市町村合併 地方分権 情報公開 , 規制緩和 オンブズマン制度 直接請求権 住民投票	住民が積極的に地方政治に参加するためには、まちの実情や意思決定の過程を明らかにし、国による規制をできるだけ少なくしていくことが必要である。	除雪センターが住民からの除雪に関する問い合わせや改善要望の窓口であることに着目させる。また、住民組織が主体的に除排雪問題の解決のために活動していることに気付かせる。
概念的知識		
地域の問題を解決するためには、住民が積極的に自分の地域のことを知り、行動することが重要である。また、行政・企業・住民が協働して地域の問題を解決する努力が大切である。		

※白抜き文字は小学校の学習を踏まえたもの

7 指導計画

段階	時	学習活動	評価規準と評価方法
事象との出会い・学習課題の設定	①	<p>1 地方自治の意義と仕組みを理解し, 国政と比べた地方の政治の特徴を考える。</p> <p>2 旭川市の降雪量の折れ線グラフや写真から, 多雪地域であることを読み取る。</p> <p>3 旭川市の除雪アンケートから, 除排雪について市民の問題意識が高いことを読み取る。 (グラフや資料の読み取りから課題を明確にする場面)</p>	
		<p>① ユニットを通した課題「地域の問題を解決する上で大切なこととは何だろうか」</p> <p>4 旭川市の除排雪をより良くするために誰が何をどうすべきかを考え, ワークシートに記入する。 (既存の知識から課題に対する見通しをもつ場面)</p>	<p>主 地域が抱える問題の解決に向けて, 行政・企業・住民が行うべき取組について意欲的に追究しようとしている。 【ワークシート】</p>
追究・解決	②	<p>5 地方公共団体の仕事と仕組みを理解する。</p> <p>6 旭川市役所が住民に配布しているチラシから, 除排雪のルールとマナーが知らされていることに気付き, 近隣住民の実情と照らし合わせ, どのような課題があるかを考える。</p> <p>旭川市は除雪のルールを定め, 住民に除雪のマナーを知らせていること, 除雪業者は「後継者不足」「重機(機材)の老朽化」「排雪場不足」などに苦勞していることを特に意識させる。</p> <p>7 旭川市の除排雪に関わる業者の実情を知り, 除排雪を行う上でどのような課題があるかを考える。 ・除雪機械の老朽化 ・オペレータの減少・高齢化・後継者不足 ・堆積場の確保の難しさ *資料1を提示する (ユニットを通した課題を多面的・多角的に捉える場面①)</p>	<p>グラフから情報を読み取り, 課題を明らかにする技能を高める。</p> <p>知技 グラフから除雪業者のオペレータの減少・高齢化などの除排雪を行う上で業者の課題を読み取っている。 【ワークシート】</p>
		<p>8 旭川市の2016年度予算から, 自主財源よりも依存財源が多いことを読み取る。</p> <p>9 旭川市の債務が増加していくと, 今後, 私たちの生活にどのような影響が生じるかを考える。</p> <p>旭川市は, 自主財源の割合が少なく, 依存財源に頼り, 限られた予算の中で様々な役割を果たしている中, 除雪費が増加傾向にあることに着目させる。</p> <p>10 旭川市の除雪費推移と累計積雪量のグラフから, 除雪費は積雪量に関わらず増加傾向にあることを読み取る。 *資料2を提示する。 (ユニットを通した課題を多面的・多角的に捉える場面②)</p>	<p>複数の資料から状況を分析する技能を高める。</p> <p>知技 旭川市の除雪費推移と累計積雪量の折れ線グラフから, 除雪費は積雪量に関わらず増加傾向にあることを読み取っている。 【ワークシート】</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">追究・解決</p>	<p>④</p>	<p>11 住民の権利である直接請求権の意義・役割を理解する。</p> <p>12 地方分権に欠かせない「情報公開制度」や「住民の政治参加」について理解する。</p> <p>13 除雪センターは、除雪作業の基地として各地に設置され、24時間体制で地区内の降雪や道路状況を把握し、住民の問い合わせ窓口となっていることを理解する。</p> <p>14 忠和地区市民委員会が主体的に除排雪問題の解決のために活動してきたことに気付かせる。 (ユニットを通した課題を多面的・多角的に捉える場面③)</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>除雪センターが住民からの除雪に関する問い合わせや改善要望の窓口であることに着目させる。また、住民組織が主体的に除排雪問題の解決のために活動していることに気付かせる。</p> </div>	<p>思 地域の問題を解決するために必要なことは何かについて、行政の取組や住民の活動の面から考察している。</p> <p style="text-align: right;">【ワークシート】</p>
	<p>⑤ (本時)</p>	<p>15 班で「除排雪が遅く交差点の見通しが悪い」という旭川市の地域問題について、行政(市)・企業(業者)・住民の立場から解決策を考える。</p> <p>16 異なる立場の主張を共有し、解決策を考え、全体で交流する。</p> <p>17 スライドで永山第三地区市民委員会が、住民の立場から市や業者の架け橋となって成果を挙げている取組を知る。</p> <p>18 忠和地区市民委員会の方の講話を聞き、除排雪問題以外の地域の問題においても住民参加が重要であることを理解する。</p> <p>19 地域の問題を解決する上で大切なことは何かを考え、グループ内で交流する。 (様々な意見を集め、多面的・多角的なアプローチから課題解決に向かう場面)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">【概念的知識】</p> <p>地域の問題を解決するためには、住民が積極的に自分の地域のことを知り、行動することが重要である。また、行政・企業・住民が協働して地域の問題を解決する努力が大切である。</p> </div>	<p>知技 地域が抱える課題を解決するためには、住民が積極的に行動することが重要であり、その上で行政や企業との協働が大切であることを理解している。</p> <p style="text-align: right;">【ワークシート】</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">発展</p>	<p>⑥</p>	<p>20 行政、企業、住民が協働して取り組むべき社会の中の問題の解決策を考える。 (例)待機児童問題、独居老人、空き家問題など (概念的知識の応用を図る場面)</p>	<p>主 行政、企業、住民が協働して取り組むべき問題について、具体的に解決策を考えようとしている。</p> <p style="text-align: right;">【ワークシート】</p>

8 本時の授業構成

(1) 目標

地域が抱える問題を解決するためには、住民が積極的に行動することが重要であり、その上で行政や企業との協働が大切であることを理解させる。 【知識・技能】

(2) 展開

過程	学習活動	教師の関わり	学習評価
つかむ	1 旭川市の除排雪の現状を確認する。 ・「交差点の見通しの悪さ」が課題 ・除雪業者には「後継者不足」などの苦勞 ・市の厳しい財政状況 ・除雪センターが住民の要望窓口 2 学習課題を理解する。	1 事前に提示した旭川市の除雪に関する諸資料を確認させる。 2 学習課題を提示する。	
	学習課題「地域の問題を解決する上で大切なこととは何だろうか。」		
深める	3 各班で「除排雪が遅く、交差点の見通しが悪い」問題について、市(行政)、業者(企業)、住民の立場から解決策を考える。 <予想される各班の解決策> ① 市側(行政側) ・新たな雪置き場を確保する。 ・交差点に雪を積み上げないように、業者に求める。 ・独自の税を作り、除雪費を確保する。 ・除雪のルールを住民に知らせる。 ② 業者側(企業側) ・市に除雪費を増やしてもらう。 ・新しく性能の良い機材を購入する。 ・若い人達に職業体験などでPRする。 ・住民にマナーを守ってもらう。 ・市に排雪場を増やしてもらう。 ③ 住民側 ・市に要望(請願)する。 ・除雪センターに除雪状況を知らせる。	3 3～4人1組の班で、今までに蓄積した除雪関連の資料をもとに解決策を考えさせる。 <留意点> 各立場で考えさせる際、以下の点を留意させる。 ・市側：資料を基に、厳しい財政状況を踏まえた上での解決策を考える。 ・業者側：資料を基に、「後継者不足」「重機(機材)の老朽化」「排雪場不足」などを踏まえた上で考える。 ・住民側：「誰が何をすべきか？」という視点で考える。	
	4 三者の立場が揃う班になり、「除排雪が遅く交差点の見通しが悪い」問題の解決策を話し合う。 <期待したい生徒の考え> ・市、業者、住民が話し合いの場をもつ。 ・市の厳しい財政、業者が抱える課題や苦勞を住民は理解し、自分たちでできることに取り組む。 ・市が業者や住民に対する助成を増やす。 ・住民にルールや除雪の方針などを知ってもらうための説明会を開く。	4 スムーズに班を再編成できるようにする。 <練り合いの目的> それぞれの立場の解決策のみでは意見が対立し、解決が困難となり、三者が「協働」していく必要があることに気付かせる。 <練り合いの手順> ①市側・業者側・住民側それぞれの主張を共有する。 ②解決策を考え、各班から発表し全体で共有する。	

過程	学習活動	教師の関わり	学習評価
深める	5 永山第三地区市民委員会の取組を知る。	5 住民が主体的に取り組み、市や業者と協働して成果を挙げている永山第三地区市民委員会の事例をスライドで紹介する。	
	6 忠和地区市民委員会の方の説明を聞く。	6 除排雪問題から地域の問題に生徒の視野を広げるために忠和地区市民委員会の方に除排雪以外の具体的な取組について説明してもらう。	
【概念的知識獲得の場面】 地域の問題を解決するためには、住民が積極的に自分の地域のことを知り、行動することが重要である。また、行政・企業・住民が協働して地域の問題を解決する努力が大切である。			
考える	7 「地域の問題を解決する上で大切なこととは何だろうか？」について個人でワークシートまとめる。 8 班や全体で交流する。	7 個人でワークシートに記入をさせ、これまでの学習を振り返るなどのアドバイスをを行う。 8 班内で交流した上で、数名に発表させる。	知技 地域が抱える問題を解決するためには、住民が積極的に行動することが重要であり、その上で行政や企業との協働が大切であることを理解している。
広げる	9 本時の活動を踏まえ、協働によって解決すべき課題を個人で考察し、ワークシートに記入する。	9 今回の学習から、住民として市や企業と協働して解決すべき課題を考えさせる。	

(3) 評価の具体

◎十分満足できる状況 (A)

「地域の問題を解決するためには、積極的に自分の地域のことを知り、自ら行動することが重要であり、また行政・企業・住民が協働して地域の問題を解決する努力が大切である。」

○おおむね満足できる状況 (B)

「地域の問題を解決するためには、住民が積極的に自分の地域のことを知り行動することが重要であり、また行政・企業・住民が協働して地域の問題を解決する努力が大切である。」

△指導を要する子供に対する具体的な手立て

机間指導や班で交流する機会を設け、学習してきた内容を振り返らせる。

(4) 板書計画

地域の問題を解決する上で大切なこととは何だろうか

交差点の
見通しの悪さ

解決策

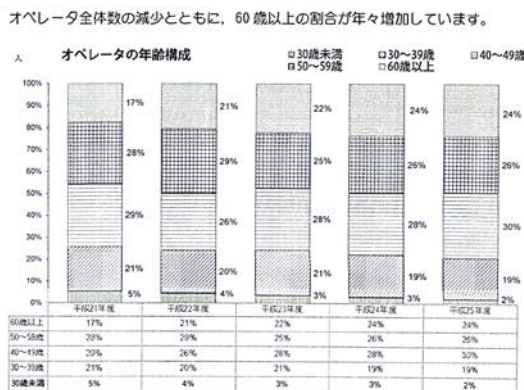
1班	2班	3班	4班	5班
6班	7班	8班	9班	

大型テレビ

 パワーポイントで永山第三地区市民委員会の活動など、資料を提示する

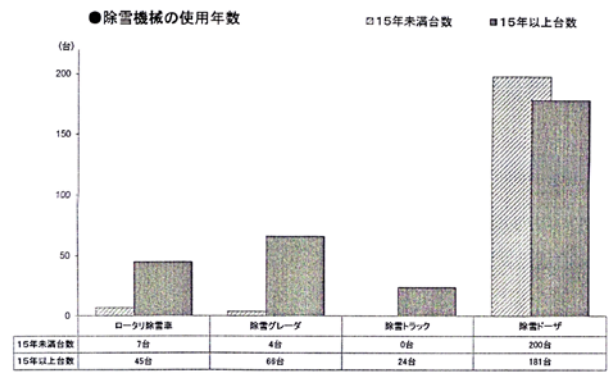
(5) 活用する資料

資料1 オペレータの年齢構成

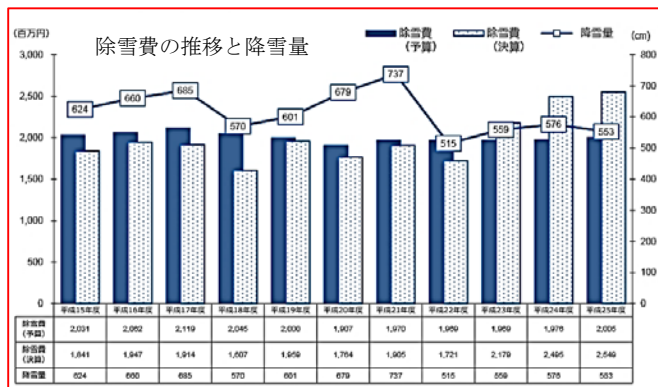


除雪機械の使用年数

機種に限らず、15年以上使用しているものが多くなっています。(平成24年度調べ)



資料2



<資料の提示・活用などの工夫点>

資料1により、オペレータの高齢化や除雪機械の老朽化など、除雪業者が抱える問題を押さえさせる。資料2により市が厳しい財政状況の中、支出する除雪費用が増えていることを押さえ、練り合いの場面で市側、住民側の解決策が妥当かどうかの判断材料とさせる。

9 教材開発に関する参考文献・参考ホームページ、取材先など

□ 参考文献・ホームページ

- 旭川市広報紙「あさひぼし」、北海道経済、メディア旭川、H27～H36 旭川市雪対策基本計画、平成24年度旭川市の除排雪と地域総合除雪体制
- 旭川市役所HP (<http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp>)

□ 取材先

- 旭川市総合政策部財政課・土木部、永山第三地区市民委員会、忠和市民委員会